



11月号

麻布幼稚園だより

令和2年10月30日
港区立麻布幼稚園
園長 藤田 智子

『経験の積み重ね』

日ごとに秋が深まってまいりました。麻布幼稚園の子どもたちは、園庭の柿の実の色付きを日々見ながら収穫できる日を楽しみに待っています。また、桜の木の葉が減っていく様子を見たり、落ち葉を使って遊んだりするなど、秋の自然の変化に気付き取り入れて遊ぶことを楽しんでいきます。園庭の秋探しは、秋がさらに深まる11月も続きそうです。

秋といえば運動会。今年は、運動会に代わる行事として学年ごとにスポーツデーを実施しました。当日は、台風の影響が心配されましたが、無事体育館で実施することができました。年長組は、チームの友達と力を合わせ、それぞれが自分の力を発揮しながら頑張りました。係の活動にも意欲的に取り組みました。年中組は、海賊をテーマに、学級のみinnで一つのことをする楽しさを感じながら取り組みました。昨年度の運動会の時よりも大きく成長したことを感じていただけたことと思います。「今日もかけっこをしようよ」と、毎日がスポーツデーのような気持ちで取り組んできた年少組の子どもたちは、当日も元気いっぱい楽しみました。ご協力ありがとうございました。

当日は該当する学年の競技のみの参観・参加とさせていただきましたので、全学年の取組については事前に配布しました『スポーツデー特集号』でお知らせしましたが、子どもたちは、スポーツデーの3日前に行われたリハーサルの日を幼児だけで行うスポーツデーとし、全学年が集まってお互いの競技を見合い、応援し合うことを楽しみました。他学年の競技から刺激を受け、スポーツデー後には、好きな遊びの時間に園庭で踊りを教え合ったり、一緒に走ったりするなど、異年齢の様々な交流が生まれました。見たこと、経験したことを自分たちの遊びに取り入れたり、遊びがより楽しくなるような工夫を加えたりしていくことで、遊びの幅が広がり、遊びが豊かになっていきます。

子どもたちの経験の幅を広げる活動として、スポーツデー以降もいろいろな活動を取り入れています。

10月21日、区の配車バスで、年中組・年長組が芋ほり遠足に行きました。感染症予防対策のため、バスの台数を増やしていただき、二人掛けの席に一人ずつ座りました。調布市の農園では、畑の土の感触を十分に感じ、土の中から出てくる虫に驚いたり喜んだりしながら芋を収穫しました。芋ほりの後は、芝生広場で弁当を食べ、芝生山に登ったり、ドングリを拾ったりしながら、秋の自然を十分に楽しみました。感染症予防のため制限の多い昨今、自然に触れながら体を思い切り動かして楽しむ子どもたちの生き生きとした姿が嬉しく、このような経験の大切さを改めて感じました。

10月26日、年中組を対象に生け花の会を行いました。『ユキヤナギ、フウセントウワタ、リンドウ、スプレーバラ』の4種類の花材を生けました。年中組の子どもたちは、初めての生け花の会に真剣な表情で参加し、それぞれに自分の表現を楽しんでいました。出来上がった作品を見合う経験もし、自分の作品が友達に褒められたり認められたりする喜びも味わいました。11月には全学年の幼児が生け花を経験できるよう計画しています。

10月28日、全園児とらっこクラブの未就園児を対象に、『科学で遊ぼう』の会を実施しました。麻布科学実験教室室長の阿部昌浩先生と2人の先生が風船を使った楽しい実験を見せてくださいました。「不思議だな」「なぜだろう」という経験が、自分で考えたり試したりすることにつながっていきます。たくさんの「不思議だな」を体験することができた時間でした。

11月には、作品展があります。スポーツデーや遠足の経験を製作活動にも生かしていきます。様々な素材経験や表現方法を取り入れながら、感じたこと、考えたことを自分なりに表現することを楽しめるようにし、豊かな感性を育てていきたいと思っています。

芋ほり遠足



生け花の会



科学で遊ぼうの会

